

《令和元年度 都市計画部 組織目標の達成状況》

重 令和元年度予算重点施策に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和元年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

◆目標管理者

部長	辻川 明宏
理事	東 隆司

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和元年度の具体的な取組
1 令和2年に現行の都市計画マスタープランの目標年次を迎えることから、今後の社会経済情勢の見通しや将来の人口減少・高齢化の進行を見据えて、今後のまちづくりの方針について検討を進める必要があります。	① 立地適正化計画、草津市版地域再生計画、地域公共交通網形成計画による「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりを基本に、近い将来の人口減少局面を見据えつつ、戦略的な土地利用や都市基盤整備を図るための次期都市計画マスタープランを策定し、今後の超高齢化・人口減少社会においても持続可能な都市構造となるようなまちづくりを目指します。	① 【取組】 都市計画マスタープラン策定委員会において、地域別市民会議での議論を踏まえた将来の都市構造とその土地利用の方針等を定める次期都市計画マスタープランの策定に取り組みます。 【成果目標】 良好な居住環境が形成されていると感じる市民の割合 71.0% (平成30年度 69.3%)	① 【取組実績】 市民アンケートや地域別市民会議により抽出した意見、および都市計画マスタープラン策定委員会や都市計画審議会等での議論を踏まえながら、主要課題を整理し、将来のまちづくりの理念・目標や都市構造について検討を行いました。 【成果目標実績】 良好な居住環境が形成されていると感じる市民の割合 68.0%(平成30年度 69.3%)
2 市街化調整区域の一部では人口減少が進み、公共交通網の縮小等により地域コミュニティの維持や生活機能の確保が困難となる恐れのある地域が出てきています。このような状況を踏まえ、魅力的で持続可能なまちを維持していくための自主的かつ自立的な取組を進めることが必要となっています。	② 立地適正化計画、草津市版地域再生計画、地域公共交通網形成計画による「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりを基本に、周辺地域での課題解決を図るべく草津市版地域再生計画の地域別のプランを地域とともに作成に取り組み、今後の超高齢化・人口減少社会も見据え、地域で生活するすべての人が、快適で健康に暮らし続けることができる持続可能なまちづくりを目指します。	② 【取組】 各地域でのワークショップや地域再生推進協議会での検討を行い、地域別のプランの作成に取り組みます。 【成果目標】 良好な居住環境が形成されていると感じる市民の割合 71.0% (平成30年度 69.3%)	② 【取組実績】 各地域において住民の皆様とワークショップや検討会議にて議論を重ねたほか、地域再生推進協議会で更なる議論を行い、常盤学区、山田学区については、地域別のプランを作成し、令和2年3月に公表しました。その他の地域についても地域再生に関する検討会議や対象学区合同ワークショップを開催し、地域別のプラン作成に向けた取り組みを行いました。 【成果目標実績】 良好な居住環境が形成されていると感じる市民の割合 68.0%(平成30年度 69.3%)
3 ・景観づくりの効果は、活動を長期的に継続して初めて効果が現れてくるものであることから、市内各地の特性に応じた良好な景観の保全と活用に取り組む必要があります。 ・住民提案に基づく本陣通り景観形成重点地区の指定により、地域のニーズを踏まえた街道景観の整備について、近隣住民の意識が高まっており、歴史的町並みの整備について、住人によるファサード補助金の利用や、新築における施工者の配慮などにより、沿道景観の連続性や一体性が生まれつつある中、当該路線の無電柱化においても関心が高い状況となっています。	③ 景観形成重点地区となる本陣通りの景観に配慮した佇まいのまちなみを形成し、中心市街地のにぎわいや回遊性の創出を目指します。	③ 【取組】 地域の特性に応じた良好な景観形成に向けて地域の景観特性や課題に取り組む住民主体の活動を支援するとともに、本陣通りの無電柱化に関する事業について、国の無電柱化にかかる新工法の情報収集などを行いつつ、既存の埋設管路を管理するNTTとの管路の共同利用や地上機器の位置等に関する協議などについて、地元の重点地区協議会との連携を図りながら取り組みます。 【成果目標】 景観に配慮した補助実績 8件(平成30年度 4件)	③ 【取組実績】 東海道本陣通りの景観形成重点地区での景観形成・啓発を推進する東海道草津宿本陣通り景観重点地区協議会の設立を支援するとともに、本陣通りの無電柱化の実施に関し、本陣前のモデル施工についての検討を進めました。 また、宿場街道の街並みに配慮したファサード補助制度について、申請に基づき1件の交付決定を行い、補助を行いました。 【成果目標実績】 景観に配慮した補助実績 1件 (他、次年度の申請に向けた計画協議終了 1件)
4 ・JR草津駅を中心とした本市の中心市街地においては、高層マンション等の建設により人口は増えているものの、商業指標の低迷や空き店舗率の増加、本陣エリアにおける人口減少・高齢化の進行など、衰退が進みつつあったことから、平成25年12月に中心市街地活性化基本計画(第1期)を策定し、中心市街地の活性化に向けた取組を行ってきました。 ・ニフタス、ココリバなどの拠点施設の整備や公共空間を活用したイベントの実施等により、歩行者通行量や空き店舗率等の指標が改善するなど、取組の成果が徐々に現れているものの、エリア内の商業活性化や回遊性の向上などの課題解決には至っていない状況です。 ・このことから、引き続き、中心市街地の活性化に取り組んでいくため、中心市街地活性化基本計画(第2期)を策定し、平成31年3月18日に内閣総理大臣の認定を受けました。	④ 中心市街地活性化基本計画(第2期)に基づき、本市の社会、経済、文化の拠点である中心市街地において、商業の活性化、草津川跡地をはじめとした公共空間の活用による新たな都市魅力の構築、歴史的まちなみや資源の活用、コミュニティの再構築等により、「ひとが行き交い ひとが集い にぎわいと交流が広がる健康なまち」を目指します。	④ 【取組】 ・中心市街地の活性化に向けた取組を推進します。 ・ニフタスや草津川跡地公園de愛ひろば等の中心市街地内の公共空間を活用したイベント等の取組や空き店舗等を活用した魅力的な店舗整備を進めます。また、草津まちづくり株式会社や中心市街地活性化協議会などと連携して、にぎわいと魅力あるまちなかを創造するための事業を推進します。 (事業費) ・中心市街地公共空間賑わい創出事業 6,058千円 ・魅力店舗誘致事業費補助金 4,000千円 ・草津駅前イルミネーション事業費補助金 2,000千円 【成果目標】 中心市街地に魅力があると感じる市民の割合 36.0% (平成30年度:33.8%)	④ 【取組実績】 ・中心市街地の活性化に向けた取組を推進しました。 ・ニフタスや草津川跡地公園de愛ひろば、本陣周辺エリアにおいて、幅広い世代に参加いただけるイベントや、地域の方々の協働による草津小市などを開催し、中心市街地のにぎわい創出を図りました。 ・中心市街地活性化協議会を中心に、商業施設や商店街と連携し、草津駅周辺一帯でイルミネーションを行うことで、中心市街地の広範囲において、賑わいと回遊性の向上に向けた取組を推進しました。 ・草津まちづくり株式会社と連携し、中心市街地の空き店舗等の活用に取り組み、十数件の相談がありましたが、魅力店舗の誘致には至りませんでした。 【成果目標実績】 中心市街地に魅力があると感じる市民の割合 36.4%(平成30年度 33.8%)
		⑤ 【取組】 北中西・栄町地区市街地再開発事業を推進します。 (事業費) ・組合への調査設計計画費、共同施設整備費補助金 1,627,146千円 ・組合への共同施設整備費補助金 1,202,742千円(平成30年度明許繰越予算) 【成果目標】 まちなかに魅力があると感じる市民の割合 35.0% (平成30年度:34.3%)	⑤ 【取組実績】 都市機能の更新や良好な市街地形成、中心市街地の活性化を図るため、市街地再開発事業に取り組まれている北中西・栄町地区市街地再開発組合に対して支援を行い、令和元年度末に「クロスアベニュークサツ」が完成しました。 【成果目標実績】 まちなかに魅力があると感じる市民の割合 37.9%(平成30年度:34.3%)

重

